

平成 22 年度 一番茶萌芽生育状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 萌芽期

本 年	前 年	前5か年
4月13日 (4月12日)	4月12日	4月13日

注) 平成23年度から調査園を変更する予定

() 内は変更予定の調査園における予備調査数値 (以下同様)

2. 生育状況

項目	年 次	4月17日	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日	5月12日
新芽長 (cm)	本 年			1.0 ± 0.4 (1.1 ± 0.5)	1.5 ± 0.5 (2.0 ± 0.7)	3.3 ± 1.3 (5.4 ± 2.0)	3.9 ± 1.6 (6.9 ± 2.1)
	前 年		1.3 ± 0.7	2.3 ± 1.0	3.5 ± 1.1	5.7 ± 1.5	
	前5ヶ年	0.8 ± 0.3	1.2 ± 0.5	1.9 ± 0.7	3.4 ± 0.8	5.4 ± 1.3	6.6 ± 1.8
新葉数 (枚)	本 年			1.1 ± 0.5 (1.0 ± 0.6)	1.5 ± 0.5 (1.4 ± 0.6)	2.9 ± 0.5 (2.8 ± 0.6)	3.4 ± 0.6 (3.3 ± 0.5)
	前 年		1.3 ± 0.6	1.9 ± 0.7	2.4 ± 0.6	3.2 ± 0.6	3.7 ± 0.6
	前5ヶ年	0.3 ± 0.4	0.8 ± 0.5	1.3 ± 0.6	1.9 ± 0.6	2.7 ± 0.7	3.6 ± 0.6

3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 ()			最高気温 ()			最低気温 ()		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	2.5	2.8	3.0	7.3	7.4	8.0	-1.4	-0.6	-1.1
	2.1	1.5	2.8	8.6	7.0	7.7	-3.1	-2.4	-1.3
	3.5	3.8	2.2	8.8	9.4	7.1	-1.1	-1.2	-1.9
2月 上旬	2.8	3.6	1.9	8.0	11.0	7.4	-1.3	-1.9	-2.7
	2.5	5.0	3.1	7.5	14.8	8.8	-1.6	-0.4	-1.4
	8.7	5.6	3.9	15.6	13.9	9.8	3.0	1.1	-0.8
3月 上旬	6.7	5.8	4.6	10.5	11.0	10.5	3.9	1.8	-0.3
	7.4	7.7	6.0	14.1	14.8	11.9	1.4	1.4	0.7
	5.6	6.1	7.6	10.8	13.3	13.6	0.8	0.5	2.0
4月 上旬	10.4	9.6	9.7	17.0	18.3	16.1	3.5	2.5	3.9
	10.7	14.4	12.0	16.0	21.7	18.5	6.3	7.8	6.1
	11.4	11.8	13.7	17.0	17.7	20.0	5.6	6.1	7.9
5月 上旬	16.6	15.7	15.9	27.2	22.4	22.0	7.0	10.5	10.5

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
1月	上旬	0.0	19.0	19.2	0	4	3.9
	中旬	2.0	16.5	21.4	3	8	4.2
	下旬	18.0	67.0	25.2	4	6	4.8
2月	上旬	28.0	5.5	18.4	5	5	4.6
	中旬	34.0	29.0	24.2	3	8	4.2
	下旬	48.0	71.5	26.3	3	7	4.2
3月	上旬	67.5	29.0	26.4	8	4	4.3
	中旬	28.5	47.0	32.9	5	3	3.8
	下旬	62.5	26.5	39.3	8	3	5.3
4月	上旬	27.0	16.0	34.5	1	3	3.7
	中旬	30.0	42.5	31.2	4	4	4.1
	下旬	75.5	50.0	26.8	5	3	3.4
5月 上旬	19.0	62.0	47.1	3	4	3.9	

終霜日 本年 4月25日 (最低気温0.1) 前年 4月6日 (最低気温0.9)
 最低極温 本年 -5.8 (1月17日) 前年 -5.8 (1月25日)

4. 供試園の条件

品種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 55年生	180cm×30cm	93cm (84cm)	157cm (166cm)	レール設置ほ場

注) 年間施肥成分量 (kg/10a) N:44.9 P₂O₅:13.6 K₂O:19.4

5. 概況

1) 気象

平均気温は、1月下旬～3月中旬にかけて高めに推移し、2月中旬～3月中旬に平年比の+1.4～+4.8と特に高かったが、3月下旬には、平年比の-2.0とかなり低かった。また、4月の平均気温は上旬に平年並、中旬に平年比の-1.3とやや低く、下旬に平年比の-2.3とかなり低く推移した。5月上旬は平年並だった。

降水量については、1月に平年比の0～71%と少なかったが、2月下旬～4月下旬に78～282%と平年並～かなり多かった。5月上旬は平年比の40%とやや少なかった。

2) 生育

1月上旬～3月中旬までの平均気温は高めに推移したものの、3月28日を除く3月26日～31日に最低気温が-0.6～-2.9と冷え込んだ。そのため、萌芽期は昨年より1日遅く、前5か年平均と同じ4月13日であった。

また、4月8日に最低気温-1.3、4月24日～26日に0.1～2.2と冷え込んだため、新芽の生育は遅かった。4月中旬～5月下旬までは平均気温が平年より低く、芽長・新葉数の増加が緩慢で、5月上旬に平均気温が平年並なり、新芽の生育は進んだものの、芽長は前5か年平均より-2.7cm短くなった。

平成 22 年度 一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年
5月12日 (5月14日)	5月12日	5月14日

注) 平成23年度から調査園を変更する予定

()内は変更予定の調査園における予備調査数値 (以下同様)

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年			前 年			前5か年		
収 量	指数		収 量	指数		収 量	指数	
297 (535)	± 62 (26)	57 (103)	569	± 37	109	520	± 34	100

3. 百芽重 (g)

本 年			前 年			前5か年		
重 量	指数		重 量	指数		重 量	指数	
29.2 (39.0)	± 2.5 (1.4)	63 (83)	41.7	± 2.1	89	46.7	± 2.8	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年			前 年			前5か年		
芽 数	指数		芽 数	指数		芽 数	指数	
1071 (1287)	± 132 (82)	87 (105)	1567	± 218	127	1231	± 96	100

5. 出開き度 (%)

本 年	前 年	前5か年
75 (35)	61	66

6 . 概況

1) 摘採期

萌芽期は4月13日と前5か年平均と同じだった。平均気温は4月中・下旬には低かったが、5月上旬に回復し、摘採日については前5か年平均より2日早い5月12日となった。また、萌芽期から摘採日までの日数は、前5か年平均の31日より2日早い29日であった。

2) 生葉収量

生葉収量については、百芽重が軽く（前5か年比63%）、新芽数も少なかった（前5か年比87%）ため、297kg/10a（前5か年比57%）とかなり少なくなった。新芽の生育初期である4月中・下旬の低温により芽の生育が抑制され、芽長、葉数とも少ないまま新芽が出開き、摘採日を迎えたことが減収の原因と考えられた。

3) 病害虫の発生状況

チャノコカクモンハマキ・カンザワハダニが多く発生し、一部被害もみられた。

4) 県内の状況

本年は、3月上・中旬の気温が高めに推移し、新芽は早く生育し始めたが、3月下旬および4月中・下旬の低温により、摘採始めは平坦地で5月8日、山間地で5月14日と平年に比べてやや遅かった。昨年夏～秋の干ばつや一番茶の生育期の低温の影響により、減収傾向であった。また、カンザワハダニの発生が多く、一部被害もみられた。